



日本語学会

The Society for Japanese Linguistics

2020年度 秋季大会

2020年10月24日(土)・25日(日) オンライン開催

10月24日(土)

	A会場 (Zoomウェビナー)			B会場 (Zoomウェビナー)			P会場 (Zoomミーティング)		
	口頭発表	司会(補助) ホスト		口頭発表	司会(補助) ホスト		ポスター発表	会場担当 ホスト	
セッション1	10:00 10:40	A-1	「～てナンボ」の構文パターンと意味機能 井上 直美	10:00 10:40	B-1	中古語におけるサラバ —「未然形+バ」条件節と比較して— 川村 祐斗	10:00 10:30	P-1	【招待発表】明治初期の口語語彙と文語語彙—『日本語歴史コーパス』の「明治初期口語資料」と『明六雑誌』の語彙比較— 田中 牧郎
	10:45 11:25	A-2	宮古語久松方言の形容詞相当形式の語としての自立性 陶 天龍	10:45 11:25	B-2	複合動詞「～ハツ」の歴史的変遷 池田 來未	10:35 11:05	P-2	『現代日本語書き言葉均衡コーパス』新聞サブコーパスに対する新聞記事情報の付与 加藤 祥, 森山 奈々美, 浅原 正幸
	11:30 12:10	A-3	関西方言における終助詞「ワ」の機能 上林 葵	11:30 12:10	B-3	「Xモナニモ」の反駁用法成立について 遠藤 美里	11:10 11:40	P-3	「昭和・平成書き言葉コーパス」の設計 近藤 明日子, 小木曾 智信, 高橋 雄太, 田中 牧郎, 間淵 洋子
							11:45 12:15	P-4	数量を表す漢語副詞について—「少々」と「多々」を中心に— 蔡 嘉昱
休憩	(50分)						(45分)		
セッション2	13:00 13:40	A-4	語彙統語論的なヴォイス対立と形態論的なヴォイス対立—漢語動名詞「影響」を中心に— 王 丹彤	13:00 13:40	B-4	近世～現代における接尾辞「～やすい」「～にくい」「～づらい」の意味・用法の変化—プラス評価、マイナス評価の観点から— 石橋 裕子	13:00 13:30	P-5	【招待発表】キリシタン版にみる中世日本語の漢字と和訓の常用性 白井 純
	13:45 14:25	A-5	「ところ」の意味体系—メタファー論の見地から— パリハワダナ, ルチラ	13:45 14:25	B-5	中世末期～近代における上方語・大阪方言の「ーオル」「ーヨル」—人称に着目して— 西谷 龍二	13:35 14:05	P-6	漢語サ変動詞の受身文とその中国語訳文の対応関係 陳 曦
	14:30 15:10	A-6	現代日本語における「つもりだ」の意味再考 阿久澤 弘陽	14:30 15:10	B-6	明治・大正期における副詞「きっと」の使用量の変化について 吉本 裕史	14:10 14:40	P-7	鮎川哲也『ペトロフ事件』に観察される、旧満洲地域における「日中ビジン」 岡田 祥平
							14:45 15:15	P-8	テキストアナリシスによる『むつぼしのひかり』第1集のことば 伊藤 孝行
休憩	(20分)						(15分)		
セッション3	15:30 16:10	A-7	日本語の主語的実体の多様性について 張 テイ	15:30 16:10	B-7	訓点資料に使用されたマコト点・仮名点の計量研究—西大寺本『金光明最勝王経』平安初期点を用いて— 柳原 恵津子, 高田 智和	15:30 16:10	C-1	「表記の手引き」類に準拠したテキストにおける表記のゆれ—実態調査と発生理由の検討— 増地 ひとみ
	16:15 16:55	A-8	相対補充節から見た「内の関係/外の関係」の分類 三好 伸芳	16:15 16:55	B-8	「差」字の意味と乖離した「差す」表記の成立について 山口 翔平	16:15 16:55	C-2	日本人の読み書き能力1948年調査の非識字者率に対する新解釈 横山 詔一, 前田 忠彦, 野山 広, 福永 由佳, 高田 智和
	17:00 17:40	予備	(発表振替時間)	17:00 17:40	予備	(発表振替時間)	17:00 17:40	予備	(発表振替時間)
	17:45～19:30	※発表振り替えが生じなかった場合は30分繰り上げ オンライン会場 (Zoomミーティング/Remo) 司会: 江口 正, 青木 博史 会場担当: 齊藤 美穂, 三井 はるみ, 米谷 隆史							
談話室	10:00-17:45 (Remo) 会場担当: 齊藤 美穂, 平塚 雄亮			懇親会					

[大会企画運営委員会] *日高水穂(委員長) 青木博史(副委員長) 山本真吾(副委員長) 安部朋世 *江口正 *加藤大鶴 *金愛蘭 甲田直美 櫻井豪人
*高田三枝子 竹田晃子 三井はるみ 森山由紀子 *吉田永弘 米谷隆史 *齊藤美穂(委員長補佐) 平塚雄亮(委員長補佐) (*実行委員兼任)

[事務局委員会] *高田智和(事務局長) 朝日祥之 白岩広行 *堤智昭 林淳子 間淵洋子 森勇太 (*実行委員兼任)

[実行委員会] 近藤泰弘(委員長) 大田垣仁 中俣尚己 松浦年男 (および上記実行委員兼任者9名)

10月25日(日)

セッション	W0会場 (Zoomウェビナー)			W1会場 (Zoomミーティング)			P会場 (Zoomミーティング)		
	ワークショップ	会場担当 ホスト	甲田直美, 竹田晃子, 三井はるみ 松浦年男	ワークショップ	会場担当 ホスト	米谷隆史 大田垣仁	ポスター発表	会場担当 ホスト	山本真吾 堤智昭
セッション4	9:40 11:10	WS0	ワークショップ0 言語習熟論へ向けて —日本語研究と国語教育・初年次教育など— 森山卓郎 矢澤真人 安部朋世	9:40 11:10	W-1	国文学研究資料館の情報資源の 日本語学研究への活用 岡田一祐 宮本祐規子 山本和明 清水康行	9:40 10:10	P-9	<メタ的把握> —主観的把握の裏を探る— 佟一
							10:15 10:45	P-10	副詞モウとマダについての分析 —スケールを基にした多義性の考察— 宮田瑞穂
							10:50 11:20	P-11	『虎明本』と『狂言六義』における 依頼話段の差異 八坂尚美
休憩	(20分)						(10分)		
セッション5	W2会場 (Zoomウェビナー)			W3会場 (Zoomミーティング)			P会場 (Zoomミーティング)		
	ワークショップ	会場担当 ホスト	青木博史 吉田永弘	ワークショップ	会場担当 ホスト	金愛蘭 中俣尚己	ポスター発表	会場担当 ホスト	櫻井豪人 高田三枝子
セッション5	11:30 13:00	W-2	奥田靖雄構文理論の継承と発展 志波彩子 早津恵美子 茶谷恭代 前田直子	11:30 13:00	W-3	『日本語歴史コーパス』活用入門 小木曾智信 服部紀子 松崎安子	11:30 12:00	P-12	【招待発表】1万人を対象とした全国方言意識 Web調査に基づく話者類型の抽出 —「方言育ち 共通話者」の地域差・年代差を中心に— 田中ゆかり, 前田忠彦, 林直樹, 相澤正夫
							12:05 12:35	P-13	日本語の語中無声破裂音の音声的特徴 —語末から切り出した単独発話の場合— Chu Chi
							12:40 13:10	P-14	カナダの大学におけるルーブリックを 用いたピア・レスポンス活動の試み —作文プロダクトの分析を中心に— 福岡寿美子, Yoko Azuma Prikryl
休憩	(60分)						13:15 13:45	予備	(発表振替時間)
セッション6	S会場 (Zoomウェビナー)			談話室	9:40-14:00 (Remo) 会場担当: 齊藤美穂, 平塚雄亮				
	シンポジウム	司会 ホスト	加藤大鶴 江口正 松浦年男						
セッション6	14:00 17:00	シンポジウム データから見る日本語と「性差」 <パネリスト> 日本語の「性差」研究の現在 —辞典・概論類の言説から— 森山由紀子 平安時代語に見られるジェンダー的性質 について—通時コーパスによる分析— 近藤泰弘 日常会話に見られる言葉の「性差」 —『日本語日常会話コーパス』に基づく分析を通して— 小磯花絵 地域方言の「性差」を探る —関西方言話者の談話資料から— 高木千恵 <指定討論者> 遠藤織枝 荻野綱男							